

## 臨床研究の実施に関する情報公開

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センターでは、臨床研究倫理審査委員会および病院長の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究課題名	急性心筋梗塞患者における Polyvascular Disease・Lipoprotein(a)・ABI および頸動脈病変の関連と予後への影響に関する後ろ向き観察研究
目的及び方法 研究対象者	<p>急性心筋梗塞（AMI）は、心臓の血管（冠動脈）が動脈硬化や血のかたまり（血栓）などで詰まり、心臓の筋肉に血液が届かなくなってしまう病気です。これは心臓だけの問題ではなく、多くの患者様においては全身の動脈硬化の進行を反映していると言われています。</p> <p>特に、頸動脈病変（首の動脈の詰まりによる病気等）、足の血流を調べる ABI（足関節上腕血圧比）の低下、下肢動脈疾患（下肢の血管が詰まる病気等）、脳血管障害（脳の血管が詰まる病気等）を併せ持つ場合は、「多血管床動脈硬化（PolyVD）」と呼ばれ、心筋梗塞の再発や心不全での入院などのリスクが高くなり、病気の経過が良くない事がわかっています。</p> <p>また、近年の研究ではリポタンパク（a）という血液中の脂質が注目されています。これは遺伝的に高値になる方がいる動脈硬化を進める因子です。欧米の研究では、リポタンパク(a)が高い心筋梗塞の患者様は PolyVD を合併しやすく、再び心血管イベントを起こすリスクが高いことが報告されています。しかし、日本人を対象とした研究はまだ少ないのが現状です。</p> <p>本研究では、2020年1月～2025年12月の間に AMI で当院へ入院をされた患者様の診療情報を収集し、下記3点を調査します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① PolyVD の合併率</li> <li>② リポタンパク（a）及び脂質に関する検査結果と、PolyVD との関連性</li> <li>③ PolyVD およびリポタンパク（a）高値を合併している方の場合、心筋梗塞や脳卒中などの大きな心臓・血管の病気（主要心血管イベント）や、心不全による入院など、病気の経過へどのような影響があるか</li> </ol>
利用する情報の項目と取得の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・背景：性別、年齢、既往・合併症・手術歴、内服歴</li> <li>・血液検査：Lp(a)、LDL-C、HDL-C、TG、HbA1c</li> <li>・頸動脈エコー検査結果：狭窄率、プラークの有無等</li> </ul>
研究実施期間	<p>実施期間：研究機関の長による実施許可日～2027年3月まで</p> <p>対象期間：2020年1月～2025年12月</p>
研究機関の名称及びその長の氏名	<p>研究機関名：中東遠総合医療センター</p> <p>機関の長：院長 宮地正彦</p>
研究責任者	中東遠総合医療センター 循環器内科 早川輝
利用する者の範囲	<p>中東遠総合医療センター 循環器内科：森川修司、高山洋平、城向裕美子、井上直也、組橋裕喜、鈴木綾子、三科貴、大日方遼、高橋奈生</p> <p>臨床研修センター 医師 井出涼太、三木篤司</p>
情報の管理者	院長 宮地正彦
研究の拒否について	患者さま又は患者さまの代理の方が、この研究のために情報が使用されることにご了承

て	ただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。除外の申し出により不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでにデータ化された場合は除外できない場合がございますので、ご了承ください。
個人情報保護について	本研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また研究関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らしません。研究関係者がその職を退いた後も同様とします。
問い合わせ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 循環器内科 早川 輝 電話 0537-21-5555（代表）平日 9：00 ～ 16：00